様　式　Ｃ－１９、Ｆ－１９－１、Ｚ－１９　（共通）

科学研究費助成事業　　研究成果報告書

令和　２ 年　 ５ 月　 １ 日現在

機関番号：１４１０１
研究種目：若手研究(B)
研究期間：2017～2019
課題番号：１７Ｋ１７５３８

研究課題名（和文）ポジティブデビアンスによるインドネシア農村女性の実現可能な健康増進アプローチ開発

研究課題名（英文）Development of a health promotion approach using positive deviance for rural Indonesian women

研究代表者
水谷　真由美（Mizutani, Mayumi）

三重大学・医学系研究科・准教授

研究者番号：１０７５６７２９

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費）　　3,000,000円

研究成果の概要（和文）：地理・経済・教育的に不利な状況にあるインドネシア農村地域の中年期女性の中で、健康行動（定期的血圧測定）を実践している人（ポジティブデビアンス）に着目した。インドネシア研究協力者と協働し、インタビュー調査、質的分析を実施した。結果、ポジティブデビアンス女性は、自身の健康状態を知る大切さを認識し、地域住民、保健ボランティアなど地域資源に支えられながら定期的血圧測定を実践していた。インドネシアにて大学教員、保健医療従事者らとフォーラムを開催し、地域資源を活用した健康増進アプローチの妥当性や実現可能性を検討した。

研究成果の学術的意義や社会的意義
インドネシアでは、経済成長に伴い、高血圧が関連する生活習慣病が急増している。地理・教育・経済的に不利な農村地域において、家族の生活と健康をケアする役割を担う女性にとって実現可能な高血圧予防・健康増進の研究は遅れている。研究結果として、地域で入手可能な資源や成功要因によって実現可能な高血圧予防・健康増進アプローチを提示することは、地域の人々が主体的に地域保健活動を実施、強化するために意義がある。

研究成果の概要（英文）：This study focused on positive deviants, such as practicing healthy behaviors (measured by periodic blood pressure checkups), among middle-aged women in rural Indonesia, where there are limited geographical, economic, or educational resources. Together with our Indonesian research collaborators, we conducted interviews and a qualitative analysis. We found that positive deviant women acknowledged the importance of recognizing their health status and practiced periodic health checkups with the support of community resources, including community members and health volunteers. We conducted a forum with faculty members and health professionals in Indonesia and discussed the appropriateness as well as feasibility of a health promotion approach using the community resources.

研究分野：公衆衛生看護学、国際看護学

キーワード：Positive Deviance　公衆衛生看護学　国際協力　インドネシア　高血圧　健康増進

※科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。

様　式　Ｃ－１９、Ｆ－１９－１、Ｚ－１９（共通）

１．研究開始当初の背景

新興国であるインドネシアでは、全死因に占める生活習慣病（脳血管疾患等）の割合は、10 年間で 5 割から 7 割に急増した（World Health Organization, 2014）。その危険因子である高血圧の罹患者割合は 28%で、WHO 東南アジア 11 か国中、第 4 位と高く（World Health Organization, 2014）、重要な健康課題である。背景として、経済成長や都市化による食事摂取カロリー増加や運動不足等の行動変容が報告されている。前述の第 1～4 位の国の中で、インドネシアは最も食事摂取カロリーが多く、運動不足割合も高い（World Health Organization, 2011; Food and Agriculture Organization of the United Nations, 2013）。他国同様、インドネシアでも、高血圧罹患者割合は 40 歳代以降に増加するため、中年期の人々の高血圧予防が喫緊の課題である。インドネシアは、2000 年代より生活習慣病予防に焦点をあて始めたが（Indonesian Ministry of Health, 2009）、農村部の保健センターでは、保健医療従事者不足等の理由から、予防のための地域保健活動の実施は十分でない(Mizutani et al., 2015)。インドネシアは 9 割がイスラム教徒で、女性は家族の生活と健康をケアする役割がある (Dewi et al., 2010)。よって、保健医療従事者が不足するインドネシアで、家族の健康をケアする女性が健康行動を実践することは、個人、家族や地域全体の高血圧予防・健康増進を進める上で不可欠である。

インドネシア保健省は、健康行動の 1 つとして、3 か月に 1 回の定期的な血圧測定を推奨しているが（Indonesian Ministry of Health, 2012）、農村部の人々の 9%は健康診断受診の経験が無い（Mizutani, 2015）。インドネシアでの協働研究結果（Mizutani, 2015; Mizutani et al., 2016）から、インドネシア農村部の中年期高血圧罹患者の健康行動（減塩、運動等）は、地理的環境（農村で健康食品の入手困難）により阻害されていた。さらに、人々の教育背景は小学校卒業未満が 6 割であった。農村部の中年期女性は、地理・教育・経済的に不利な状況にあり、健康行動を実践するためには、限られた資源の中で実現可能な行動変容のアプローチが必要である。

世界の公衆衛生分野では、教育・経済的に不利な状況にある集団の中でも、健康行動を実践している人（ポジティブデビアンス）に着目し、地域の人々の行動変容を図る研究が、2000 年代から増加している。これは、その地域で入手可能な資源や成功要因に焦点をあて、地域の人々自身が解決方法を見出すことを促進する。よって、地理・経済・教育的に不利な状況にあるインドネシア農村部中年期女性の中でも、健康行動を実践している人（ポジティブデビアンス）に着目することで、その地域で実現可能な高血圧予防・健康増進を図ることができると考えた。

２．研究の目的

本研究の目的は、高血圧が関連する生活習慣病（脳血管疾患等）による死亡が急増し、高血圧予防・健康増進対策が急務であるインドネシアにおいて、地理・経済・教育的に不利な状況にあるインドネシア農村部の中年期女性の中でも、健康行動（定期的な血圧測定）を実践している人（ポジティブデビアンス）に着目し、地域で入手可能な資源や成功要因によって実現可能な高血圧予防・健康増進アプローチを開発し、その実用可能性を評価することであった。

ポジティブデビアンスのステップ（Positive Deviance Initiative, 2009）に基づき、以下を研究目標とした。

(1)インドネシア農村部において、学歴・収入が低く、高血圧罹患のリスクがある中年期の中で、健康行動（血圧測定、減塩、運動等）を実践しているポジティブデビアンス女性を特定（Determine）する。

(2)目標(1)で特定したポジティブデビアンス女性の健康行動実践を可能にした個人・社会的要因を探索し、発見（Discover）する。

(3)目標(2)で発見した結果から、インドネシア農村部の中年期女性にとって実現可能な高血圧予防・健康増進アプローチを開発（Develop）し、その実用可能性を評価（Discern）する。

３．研究の方法

(1)インドネシア農村部において、健康行動を実践しているポジティブデビアンス女性の特定

インドネシアにおける研究はすべて、研究協力者である Indramayu College of Health Science（インドラマユ健康科学大学）教員とともに、Dinas Kesehatan Kabupaten（県保健局）ならびに Badan Kesatuan Bangsa, Politik dan Perlindungan Masyarakat（国家統一・政治・地域保護局）より研究許可を得た後、実施する。県保健局が管轄している保健センターから、農村部において高血圧に罹患していない中年期女性の中で、健康行動を実践している人（ポジティブデビアンス）の情報を得、特定する。

(2)特定したポジティブデビアンス女性の健康行動実践を可能にした要因を探索・発見

対象は、目標(1)で特定したポジティブデビアンス女性である。データ収集方法は、対象に同意を得た上で、健康行動実践を可能にした個人・社会的要因について、インタビュー調査を行い、質的に分析する。

(3)インドネシア農村部、中年期女性の高血圧予防・健康増進アプローチ開発と実用可能性評価

目標(2)の結果をふまえ、インドネシア研究協力者と討論し、インドネシア農村部、中年期女性の高血圧予防・健康増進のためのアプローチ試案を開発する。インドネシア保健医療従事者、大学教員らを対象にしたフォーラムを開催し、開発したアプローチ試案の内容妥当性、実用可能性について評価を得る。結果をふまえ修正する。

４．研究成果

(1)インドネシア農村部において、健康行動を実践しているポジティブデビアンス女性の特定

インドネシア農村部において、不利な状況下においても健康行動を実践している女性（ポジティブデビアンス）を特定するにあたり、ポジティブデビアンスを用いた研究が近年増加していることから、まず既存の文献から「ポジティブデビアンス」の概念がどのように用いられているのかについて明らかにする必要があると考え、概念分析を行った。概念分析の方法は、医学・看護学の論文を含む文献データベースを検索し、地域の人々の健康増進に着目したポジティブデビアンスの概念を含む文献を対象とした。分析の結果、その先行要件、属性、帰結を明らかにした。

米国テキサス大学エルパソ校ならびにタフツ大学を訪問し、ポジティブデビアンス研究の第一人者である研究者と、ポジティブデビアンスの研究活動への活用について検討した。その結果、地域の人々に実行できる行動で、既に実践されているが、めったにない行動を探索することが鍵であった。この活動報告については、学術誌に投稿した。

これらをふまえ、インドネシア研究者との検討、インドネシア保健省の発行する報告書などの文献検討を行い、本研究では、インドネシア農村部の不利な状況下において、高血圧罹患のリスクがある中年期女性の中で、インドネシア保健省が推奨する定期的な血圧測定（健康行動）を実践している女性をポジティブデビアンスと定義した。

インドラマユ健康科学大学教員とともに、県保健局ならびに国家統一・政治・地域保護局より研究許可を得た後、県保健局が管轄している保健センターから、ポジティブデビアンス女性の情報を得、特定した。

(2)特定したポジティブデビアンス女性の健康行動実践を可能にした要因を探索・発見

インドラマユ健康科学大学教員と協働し、インドネシア農村部において、特定したポジティブデビアンス女性と、保健センターの看護師を対象に、定期的な血圧測定行動とそれを可能にした個人的・社会的要因に関するインタビュー調査を実施した。質的分析の結果、インドネシア農村部において、定期的な血圧測定を実践しているポジティブデビアンス女性は、自身の健康状態を知ることの大切さを認識し、地域住民、保健ボランティア、保健医療従事者など地域資源に支えられながら定期的な血圧測定を実践しているという特徴があった。

(3)インドネシア農村部、中年期女性の高血圧予防・健康増進アプローチ開発と実用可能性評価

分析結果をふまえ、インドネシア農村部、中年期女性の高血圧予防・健康増進のためのアプローチ試案を開発し、インドネシアにて大学教員、保健医療従事者、保健ボランティア、学生を対象としたフォーラムを開催した。フォーラムにて、保健ボランティアなど地域資源を活用した健康増進アプローチの妥当性や実現可能性について議論した。今後の展開として、引き続きインドネシアの農村地域にて研究を続けていくことを検討した。

＜引用・参考文献＞

Dewi, F.S.T., Weinehall, L. & Ohman, A. (2010). ‘Maintaining balance and harmony’: Javanese perceptions of health and cardiovascular disease. Global Health Action, 3(10).

Food and Agriculture Organization of the United Nations. (2013). Food balance sheets. http://faostat3.fao.org/

Indonesian Ministry of Health. (2009). Pembangunan kesehatan berbasis preventif dan promotif [Preventive and promotive based health development]. http://www.depkes.go.id/pdf.php?id=849

Indonesian Ministry of Health. (2012). Profil pengendalian penyakit dan penyehatan lingkungan tahun 2011 [Profile of disease control and environmental sanitation 2011]. http://pppl.depkes.go.id/upt?id=85

Mizutani, M. (2015). Development of a preventive and promotive health behaviors model for middle-aged people with hypertension in rural West Java, Indonesia. 聖路加国際大学大学院博士論文.

Mizutani M., Tashiro, J. & Maftuhah. (2015). Health needs assessment in a district of West Java for health promotion. Journal of St. Luke’s Society for Nursing Research. 18(2). 3-13.

Mizutani, M., Tashiro, J., Maftuhah, et al. (2016). Model development of healthy-lifestyle behaviors for rural Muslim Indonesians with hypertension: A qualitative study. Nursing and Health Sciences. 18(1), 15-22.

Positive Deviance Initiative. (2009). Basic guide to the positive deviance approach. http://www.positivedeviance.org/about_pd/Final%20revised%2006-03-09Basic_PD_Steps_2.pdf

World Health Organization. (2011). Noncommunicable diseases country profiles 2011. https://www.who.int/nmh/publications/ncd_profiles2011/en/

World Health Organization. (2014). Noncommunicable diseases country profiles 2014. https://www.who.int/nmh/publications/ncd-profiles-2014/en/

World Health Organization. (2018). Noncommunicable diseases country profiles 2018. https://www.who.int/nmh/publications/ncd-profiles-2018/en/

５．主な発表論文等

〔雑誌論文〕　計1件（うち査読付論文　1件／うち国際共著　0件／うちオープンアクセス　1件）

１．著者名 Harumi Bando, Mayumi Mizutani	４．巻 -
２．論文標題 Utilization of positive deviance into research activity for community health	５．発行年 2020年
３．雑誌名 Harumi Bando, Mayumi Mizutani	６．最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

〔学会発表〕　計1件（うち招待講演　0件／うち国際学会　0件）

１．発表者名 水谷真由美
２．発表標題 シンポジウム「地域住民の気づきを促し、力を引き出す看護の役割と課題～開発途上国における実践経験から～」 演題「Positive devianceを活用したインドネシアの地域における高血圧予防と看護の役割」
３．学会等名 第34回日本国際保健医療学会
４．発表年 2019年

〔図書〕　計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

－

６．研究組織

	氏名 （ローマ字氏名） （研究者番号）	所属研究機関・部局・職 （機関番号）	備考
研究協力者	(Heri Sugiarto)		
研究協力者	(Riyanto)		